

# 日本の製鉄・製鋼の生産性向上に貢献。災害リスク回避のため本社・工場を移転

## 会社概要

Heraeus



### 会社名

ヘルス・エレクトロナイト株式会社

### 親会社

Heraeus Electro-Nite International N.V. (ベルギー)

### 進出時期・地域

1966年 大阪府高槻市  
2025年 岐阜県恵那市へ移転

### 進出形態

製造・販売拠点

### 他の国内拠点

岡山県（工場）

### 主な事業内容 自社の強み

金属溶解工程用の白金熱電対センサーを製鉄、製鋼メーカーの製品スペック毎にカスタマイズして日本で生産、供給。海外グループ企業の製品の活用による価格競争力も強み。



## 進出の背景・目的

- 日本市場への熱電対センサー供給のため60年前に千葉県に日本法人を設立して進出したが、建屋の老朽化が進み、また周辺の都市化や水害リスクに対処するため本社機能、生産拠点の移転を検討。
- 日本の粗鋼生産量の三分の一弱を占めるグレーター・ナゴヤ地域において、マネジメント層及び生産部門の人材確保、必要な用地の確保が可能であり、高速道路網、国際港湾、また将来のリニア中央新幹線駅へのアクセスが良く、企業誘致インセンティブが優位であった恵那市に移転。

1966

## 進出後の成果

- 本社機能・生産機能に対する災害リスクが低減されるとともに名古屋港の活用により製品・半製品輸入を支障なく継続することができた。
- 十分な面積を確保した新工場ではフレキシブルなラインレイアウトが可能となり、作業環境・通勤環境も改善された。

2025

## 地域への貢献

- 日本全国の製鉄、製鋼における多様な製品の品質管理とコスト低減に貢献。
- 移転に伴う約50名の新規雇用者のほとんどを地元東濃地方から採用。
- 地方において挑戦的なマインドセットを持ったマネジメント人材の活躍の場を提供。

## 今後の展望

- 顧客の製鉄、製鋼工程におけるロボット導入等に対応した新たなセンシング技術の開発と提供。
- 新工場における優れた就労環境、ワークライフバランスの提供。
- 事業拡大に伴うマネジメント層の強化。

将来